

フィラデルフィア大都市圏 2007 年地域レポート

エグゼクティブ・サマリー





市場へのアクセス

東海岸の中心—戦略的な立地に
あるフィラデルフィア大都市圏は、世界の市場へのアクセスに優れたダイナミックな都市圏です。車で90分以内の距離に9空港を擁し、全米でも最も至便性の高い地域といえます。

国内外のアクセス

主要玄関口であるフィラデルフィア国際空港 (PHL) の年間乗降客数は50万人を超え全米9位、世界28位を誇ります。2006年度、同空港では1日平均700便が離陸し、航空会社は29社、目的地は120都市に上りました。

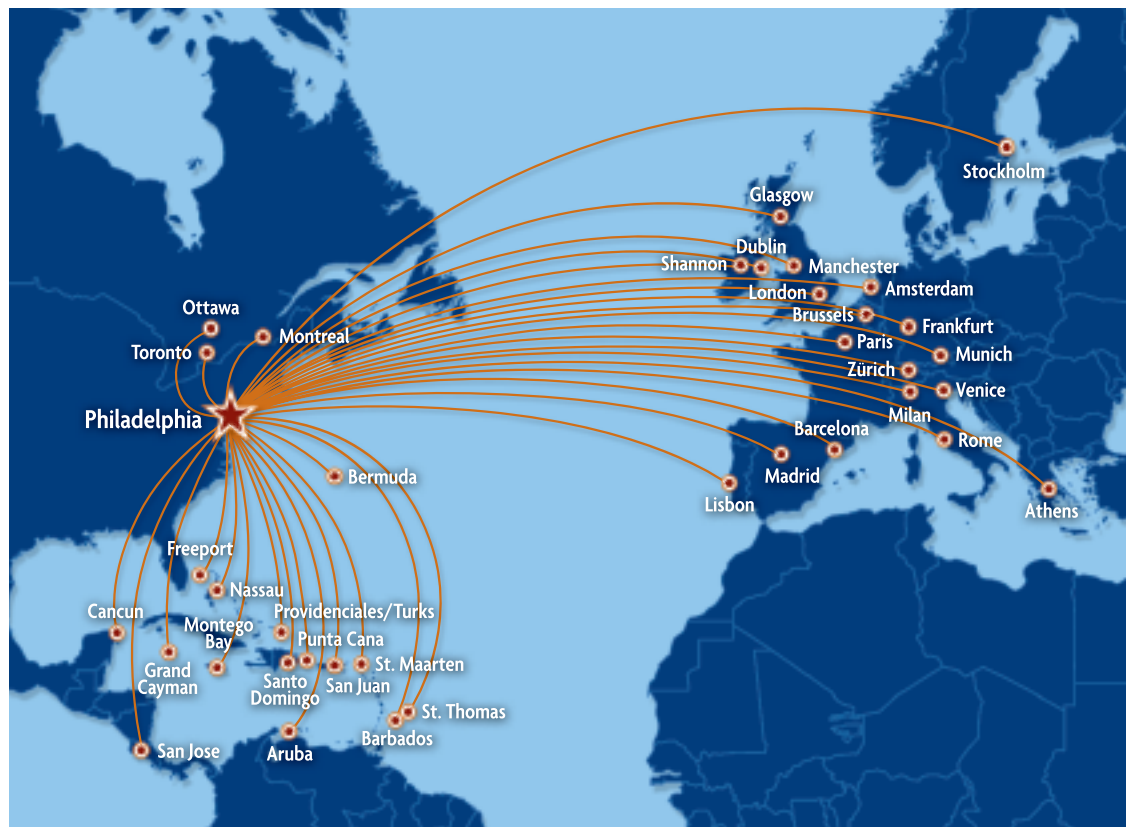
さらに、フィラデルフィア大都市圏には、CSX トランスポーターション社、カナダディアン・パシフィック鉄道、ノーフォークサザン鉄道というクラスワンの鉄道貨物輸送業者3社も入っています。

同大都市圏の経済成長と至便性には運輸業も大きな役割を果たしており、デラウェア川ポートコンプレックスは、生鮮食品、木材、果物の輸送において屈指の港湾施設となっています。

地域内のアクセス

この地域の交通網は非常に発達しており、隣接3州内を容易に移動できます。バス、地下鉄、鉄道、路面電車などが整備され、ニューヨーク・ボストン方面に向かうアムトラック路線は1日1,700本の電車が行き交う北米で最も交通量の多い路線です。

道路網も州間高速道路 I-95、I-76、I-295 やニュージャージー・ターンパイク (有料高速道路) があり、非常に便利です。





フィラデルフィア大都市圏の特長

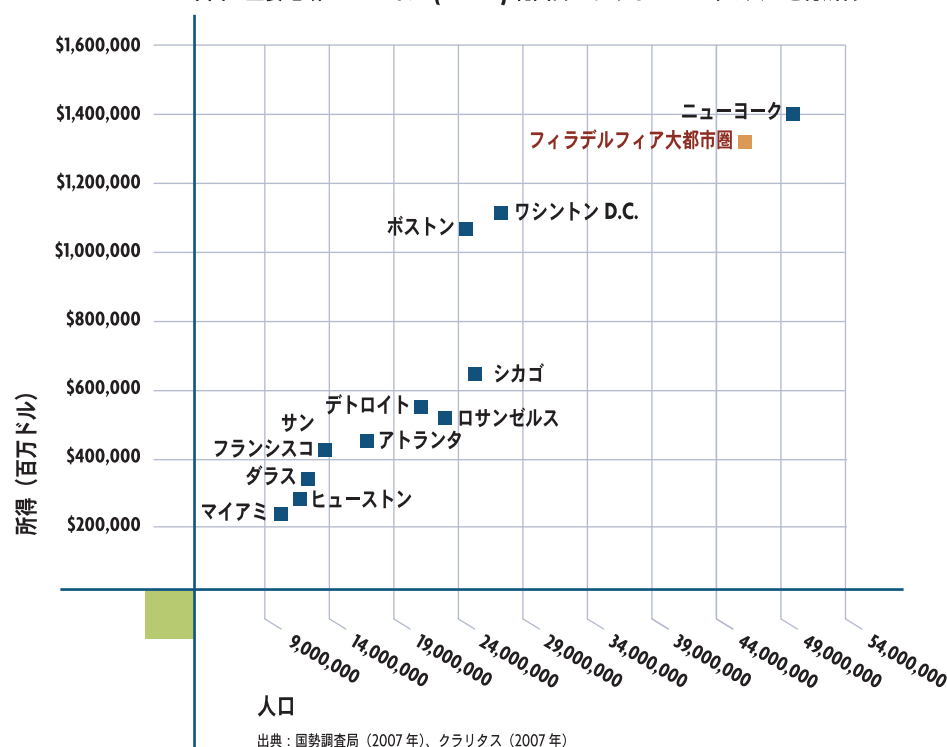
すばらしい立地条件、幅広い経済活動、優れた人材など多くの資産を持つフィラデルフィア大都市圏は、成長と拡張の可能性に満ちています。人口はニューヨーク、ロサンゼルス、シカゴに次いで全米第4位であり、雇用、人口、所得において東海岸で2番目に大きな地域となっています。

2006年時点で人口は600万人強、雇用人口は300万人に達し、大市場であると同時に、フォーチュン1000社に入る33社がフィラデルフィア大都市圏に本社を置く一大経済圏となっています。最近ではエクспанション・マネジメント誌によって、事業の移転先および拡張先として全米で最もホットな都市圏としてランキングされました。

フィラデルフィア大都市圏の規模を示すその他の順位には以下が挙げられます。

- 市民総生産全米第6位
- 個人総所得全米第5位
- メディア市場規模全米第4位

米国の主要地域 200 マイル (322km) 範囲内における 2006 年の人口と総所得



出典：国勢調査局 (2007年)、クラリタス (2007年)

「ここは、撮影監督だけでなく、作家や芸術家などクリエイティブな業界関係者にとり非常に恵まれた土地です。創造的な仕事に取り組む我が社にとって、この土地以外は考えられません。」

NFL Films (本社ニュージャージー州マウント・ローレル市) 社長、Steve Sabol 氏

産業クラスター

フィラデルフィア大都市圏の経済は多様で活気にあふれ、次の産業クラスターをはじめとする数多くの知的産業が盛んです。

情報テクノロジー (IT)

IT産業は2005年のフィラデルフィア大都市圏雇用数の約5% (145,200人) を占め、地域経済に大きく貢献しています。

ライフサイエンス

ミルケン研究所が最近行った調査によると、フィラデルフィア大都市圏内のライフサイエンス産業がもたらす経済効果は、主要都市圏中最大となっています。およそ400社のライフサイエンス企業がフィラデルフィア大都

市圏を拠点としており、業界従事者、または業界関連雇用数は363,200人に上ります。

ヘルスケア/医薬品

フィラデルフィア大都市圏は、長い間医療研究の中核を担ってきており、グラクソ・スミスクライン、アストラゼネカ、ワイス、メルク、シーメンズ・メディカル・ソリューションズなど、数多くのヘルスケア企業が同地域を拠点としています。

金融サービス

金融業界従事者は234,400人と全米第4位の規模を誇り、銀行や金融サービス業が集中しています。

「フィラデルフィア大都市圏では、臨床治験から認可やライセンスの専門知識、パッケージ化やマーケティングまで、いち早くしかも低リスクで医薬品上市を可能とする商品化機能の集約があります。」

グラクソ・スミスクライン・アメリカズ社長 David Stout 氏

化学産業

フィラデルフィア大都市圏の化学産業クラスターは30,000人以上を雇用しており、主要都市圏の中で第4位の規模となっています。

ハイテク製造業

同地域の製造業の一端として、次世代エレクトロニクス、防衛システム、造船、代替エネルギーなどが挙げられますが、それ以外にも多種多様な製造業が盛んです。

フィラデルフィア大都市圏における
フォーチュン 500 企業 (2007 年)

- ・アメリソース・バーゲン (医療品卸売) 29 位
- ・スノコ (石油) 60 位
- ・デュポン (化学) 74 位
- ・コムキャスト (通信) 84 位
- ・シグナ (保険) 139 位
- ・アラマーク (飲食サポートサービス) 214 位
- ・リンカーン・ナショナル (金融) 277 位
- ・ローム&ハース (電子材料) 292 位
- ・キャンベルスープ (食品製造) 311 位
- ・クラウン・ホールディングス (梱包・容器) 328 位
- ・トールブラザーズ (建設) 375 位
- ・ユニシス (IT) 400 位
- ・UGI (ガス) 435 位
- ・ソブリン・バンコープ (金融) 479 位
- ・サンガードデータ・システムス (IT) 500 位

出典：フォーチュン誌 (2007 年)



人材

フィラデルフィア大都市圏は、優れた人材の宝庫です。

同地域内の大学数は88校に上り、毎年67,500人の新卒者を送り出していますが、うち57,200人は学士号以上を有しています。

アトランタ地区高等教育委員会が最近行った調査では、フィラデルフィア大都市圏は大学の学生数と年間支出額において、全米第4位にランキングされています。

USニュース&ワールド誌では、同地域の次の大学を挙げています。

- 全米トップの総合大学2校 — プリンストン大学、ペンシルバニア大学
- 全米トップのリベラルアーツカレッジ3校 — スワースモア大学、ハヴァフォード大学、プリンマー大学

また、幼稚園から高校まで全米トップにランクされる公立学校区も擁しています。

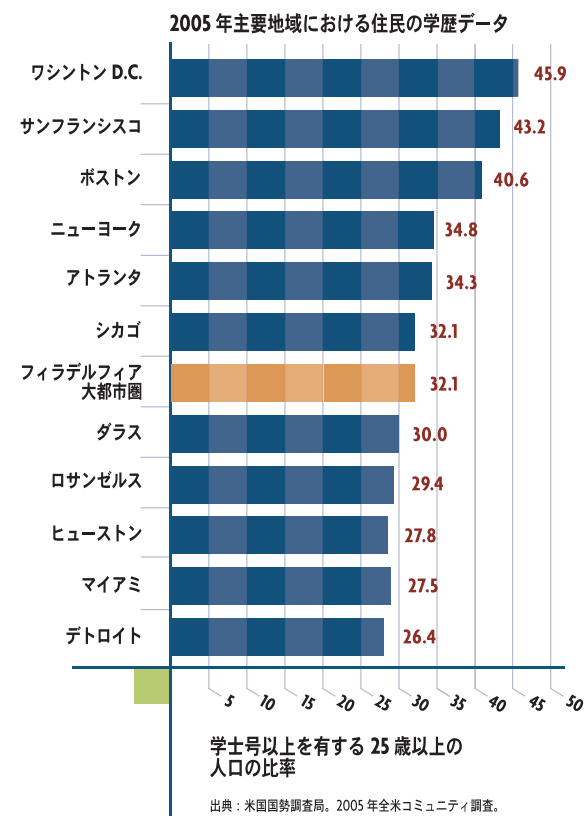
この教育水準の高さは、以下の通り様々な形で認められています。

- 国際バカロレア機構 (IB) 認定校15校

「この大都市圏では何万人という新卒者を社会に送り出しています。当社のような金融サービス業にとって、IT技能を身につけた逸材の宝庫といえましょう。」

バンガード社
(ペンシルバニア州バレーフォージ市)
会長兼 CEO
John J. Brennan 氏

- ニュースウィーク誌によるランキングで17校の高校が優秀校上位100位内 (2006年)
- 18校の公立高校で2005/2006年度SATの言語と数学テスト合計スコアが1,100点以上





フィラデルフィア大都市圏の価値

雇用の拡大

2007年労働統計局の発表によると、フィラデルフィア大都市圏の非農業従業者雇用数は、全米の都市圏中第4位の290万人でした。

この地域の産業経済は、以前に比べて一層知識集約型となり、この数年間で工業生産主体経済から専門サービスを中核とした経済へと変貌を遂げました。

主に知識産業の拡大により、フィラデルフィア大都市圏では、民間サービスの新規雇用が1990年から2006年の間に432,500人増加しました。今後も成長は続くものとみられ、2022年までにはさらに357,000人の新規採用が見込まれています。

競争力のあるオフィス

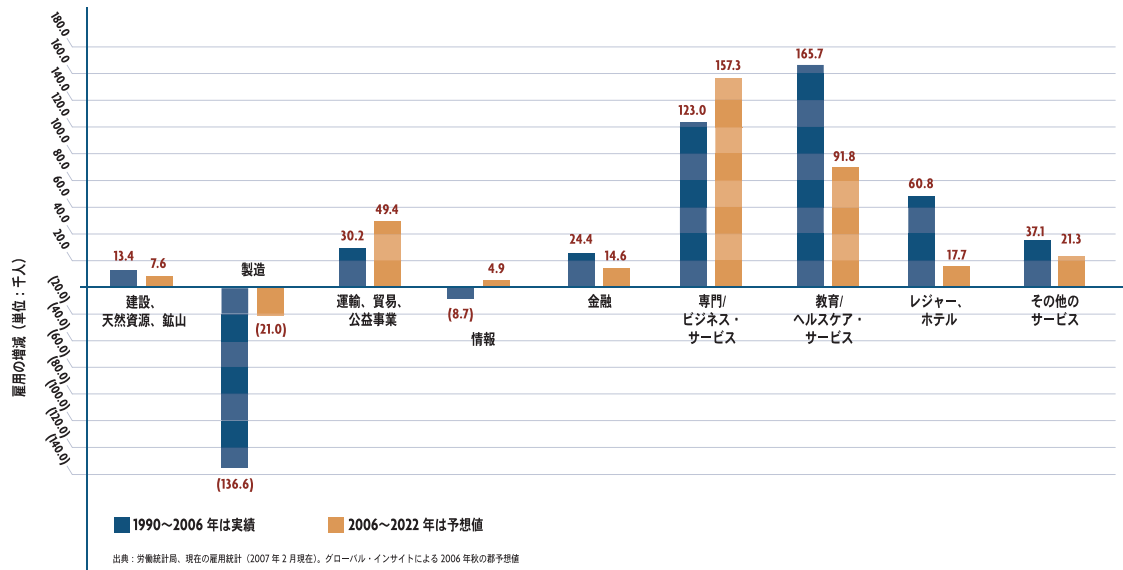
堅固な雇用基盤に加え、この地域のオフィス賃料は比較的安く抑えられています。Aクラスのビルの平均賃料は1平方フィート(約0.09平方メートル)当たり約280ドル、Bクラスのビルでは約237ドルとなっています。

手ごろな住宅価格

同地域の平均住宅価格は、米国内の主要都市圏中下から5位にあります。

この地区の購買力と比較的安定した物価、そして高い生活水準などがあいまって、フィラデルフィア大都市圏は米国の他地域に比べると多くの利点を有していることとなります。

フィラデルフィア大都市圏における民間セクターの主要産業別雇用の変化



ビジネス革新の支援

フィラデルフィア大都市圏は、革新的なアイデアと将来性の高い新技術を市場にもたらすことにかけて、豊かな歴史と実績を誇っています。

全米屈指の研究開発 (R&D) 都市である同地域内における研究開発所の R&D 投資額は、昨年 12 億 7,500 万ドルを超えました。

さらに、20 校を超える地域内の大学が技術・科学関連インキュベータと提携しており、大学の人材や施設など、

豊富な資源が産学連携に役立っています。

ベンチャーキャピタルもこの地域の成長に重要な役割を果たしています。2006 年には全米トップレベルのベンチャーキャピタル投資地域となりました。

ベンチャー投資が最も多かったのはバイオテクノロジー分野、続いて、医療デバイス機器、IT サービス、ソフトウェアとなっています。

以下のデータは、フィラデルフィア大都市圏における 2006 年のベンチャーキャピタルの状況を示しています。

- ベンチャーキャピタル取引— 96 件
- バイオテクノロジー産業への投資額— 4 億 7,600 万円
- 資本投資合計額— 6 億 9,800 万円

「フィラデルフィア大都市圏は常に革新的であり続け、事業を行うには極めて魅力的な所です。デュポンの 200 年の歴史を通して、一件を除く全発明が当社最大規模の研究所であるここで生まれました。産学協同で新しい未来を切り拓く力がこの地域には現実にあるのです。」

デュポン社（デラウェア州ウィルミントン）会長兼 CEO、Charles O. Holliday, Jr. 氏

2005 年の研究開発関連投資額（単位：百万ドル）

- ペンシルバニア大学 \$654.98
- プリンストン大学 \$202.38
- デラウェア大学 \$110.34
- トーマス・ジェファソン大学 \$107.39
- ドレクセル大学 \$88.05
- テンプル大学 \$83.06
- ヴィラノヴァ大学 \$6.90
- ローワン大学 \$4.94
- ブリンマー大学 \$4.40
- セント・ジョセフ大学 \$3.19
- ニュージャーシー大学 \$3.05
- スワースモア大学 \$1.99
- ハヴァフォード大学 \$1.26
- ペンシルバニア眼科大学 \$1.12
- ライダー大学 \$1.09
- フィラデルフィア整骨医療大学 \$0.97
- フィラデルフィア理科大学 \$0.70
- リンカーン大学 \$0.53
- ウェストチェスター大学 \$0.46
- アルカディア大学 \$0.32
- フィラデルフィア大学 \$0.23



クオリティ・オブ・ライフ

フィラデルフィア大都市圏の住民は、世界トップクラスの美術館、コンサート、多文化フェスティバル、娯楽施設、歴史記念物や史跡など、質の高い生活環境に恵まれています。

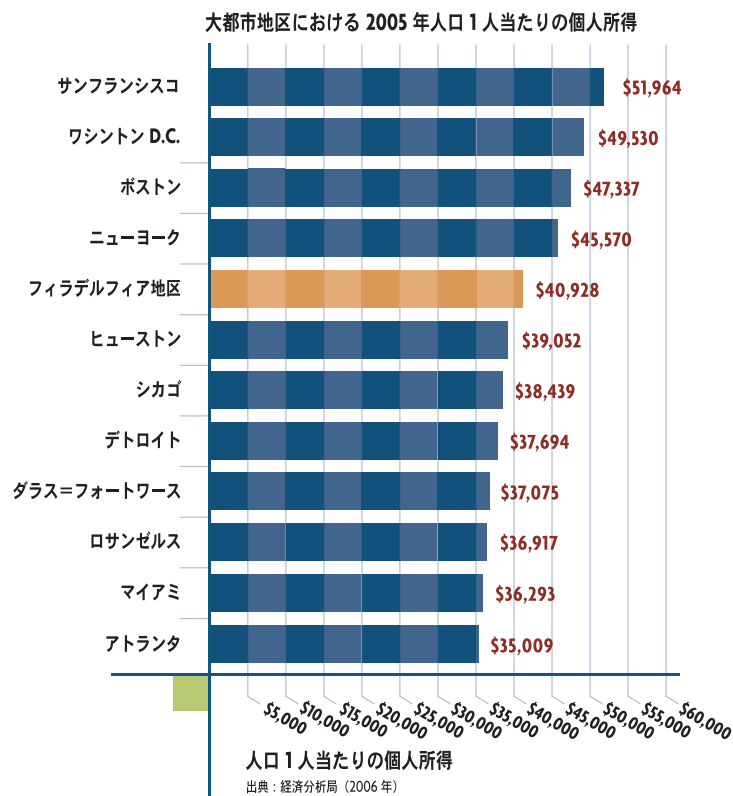
そのうえ、米国の他の大都市圏に比べて物価が安く、雇用側およびこの大都市圏で職を得る者にとって理想的な地域となっています。

2005年の人口1人当たり個人所得は、全米大都市圏の中で5番目に高いものでした。

家族にとっても遊園地や美術館、野球場、ショッピングモールなどレジャー施設が充実しています。フィラデルフィアは、全米でも指折りの芸術とスポーツの都市としても知られています。

「フィラデルフィア大都市圏は質の高い教育機関、画期的な医療施設、多様な文化やレジャー施設などがあり、家族で住むには最高の都市圏です。その豊かで充実したライフスタイルは、どの都市にも引けをとりません。」

キャンベルスープ社（ニュージャージー州カムデン市）社長兼 CEO、Douglas R. Conant 氏

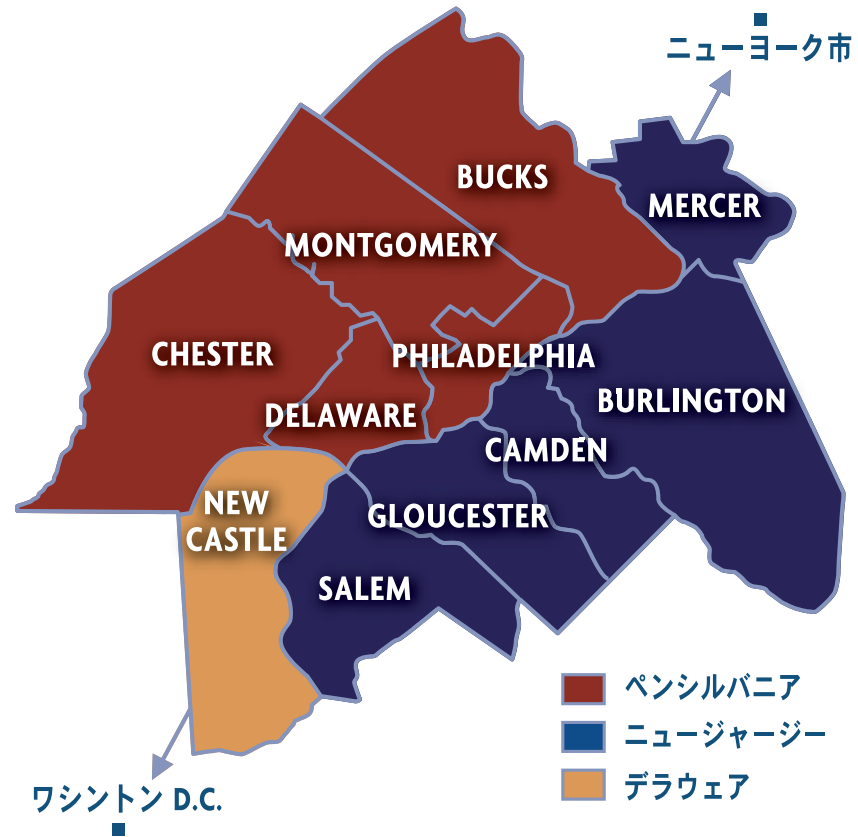


Select Greater Philadelphia について

Select Greater Philadelphia は、フィラデルフィア大都市圏の経済発展促進を目的とする地域経済のマーケティング組織です。

100社を超える支援企業とともに、Select Greater Philadelphiaでは企業の同地域への移転または地域内での拡張をお手伝いするため、様々なサービスを提供します。

- 同地域の詳細情報や市場データ
- 視察手配
- 産業界トップや政治家、サービス業者等の紹介
- 現地および優遇措置制度の分析をサポート
- ベンチャーキャピタルや資金調達の紹介
- ロケーション・コンサルタントへのサポート
- フィラデルフィア大都市圏に関する仔細な調査



お問い合わせ先
ウェブ
www.selectgreaterphiladelphia.com
電話 +1 215-790-3777

